



茶内小だより

茶小の教育目標 ○思いやりのある子 ○自ら鍛える子 ○進んで学ぶ子

日常の教育活動につきましては、学校ホームページをご覧ください。



<https://www.townhamanaka.jp/chan>

9月行事予定

日	曜	学校行事・PTA行事など
1	日	茶内八幡神社祭 本祭
2	月	午前授業(浜中町教職員の研修会のため)
3	火	
4	水	みんなの広場
5	木	水泳学習(中学年) たてわり班清掃
6	金	北海道シェイクアウト クラブ
7	土	町民駅伝大会 (世界津波ツアー 霧高)
8	日	(世界津波ツアー 霧高)
9	月	
10	火	社会見学(4年生)
11	水	
12	木	湿原学習(6年生)たてわり班清掃 放課後学習
13	金	水泳学習(中学年) 児童委員会
14	土	地域参観日 マラソン記録会
15	日	
16	月	祝 敬老の日
17	火	
18	水	防災教室
19	木	水泳学習(低・高学年)たてわり班清掃
20	金	クラブ
21	土	
22	日	
23	月	祝 秋分の日
24	火	水泳学習(低・高学年)学芸会特別時間割
25	水	交通安全街頭指導(~27日)
26	木	乗り入れ授業 たてわり班清掃 放課後学習
27	金	児童委員会 学校便り発行
28	土	
29	日	文化祭(茶内中)
30	月	学芸会実行委員会

笑顔あふれる学校に

校長 佐野 万由里

夏休みが終わり、静かだった学校に子どもたちの明るい声と元気な姿がもどってきました。両手いっぱい夏休みの作品や自由研究、学習道具を持って登校してきた子どもたちの顔は、どの子も笑顔にあふれていました。

27日間の夏休みを振り返りますと、8月4日にはPTA主催の「七夕・花火大会」が開催され、多くの皆さんが参加し、楽しい一時を過ごしました。準備や後片付けに多くのお父さん達が協力して下さり大変助かりました。PTA施設部・厚生補導部・三役のみなさま、ありがとうございました。さらに地域では、ラジオ体操や盆踊りが開催され、子どもたちが地域の中で見守られ、大事に育てられていることがわかり、大変嬉しく思いました。

今後とも、学校・家庭・地域が連携・協働しながら、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指していかなければならないと実感いたしました。これまで以上に、保護者や地域の皆様と連携し、互いの教育力を高め、双方で子どもを育む取り組みを推進して参りたいと思います。

さて、始業式で子どもたちに「楽しい学校生活を送る」ため、3つのことを話しました。

1つ目は、「脳のはたらき」をよくしようということです。

「早寝・早起き・朝ごはんに勉強」を心掛け、生活のリズムを整えるということです。睡眠不足で体調が悪いと学校生活を楽しむことはできません。脳から分泌される成長ホルモンは、体の成長や疲労回復、脳の発達に重要な役割を果たしています。元気よく過ごすためには、毎日の朝ごはんは、活動のエネルギー補給だけではなく脳や体を自覚させるためにとても大切です。朝ごはんを食べ元気に過ごし、しっかりと勉強ができるようにすることが大切です。学校では、「学習の約束」「学習用具」「家庭学習」などを見直し学習環境を整えていきます。家庭では、電子メディアの使用時間、使用方法などについて「家庭で取り組むレッツ5」(茶内小学校PTA)を活用するなど確認をお願いします。

2つ目は、「笑顔であいさつ」をするということです。

朝、玄関であいさつを交わし、子どもたちから元気やパワーを貰っています。最近「笑顔」で話題の女子プロゴルファーの渋野日向子(しぶの ひなこ)選手について紹介しました。渋野選手のメンタルの強さは、スマイリングシンデレラと呼ばれる「笑顔」にあると言われています。脳の仕組みからも「笑顔」は、いやなことや暗いことは考えにくく、自分にも相手にもプラスに働く効果があるそうです。私自身、落ち込んでいた時に、子どもたちの笑顔に救われたことがあります。子どもたちや教職員の笑顔がいっぱいの学校になるよう努めていきたいと思ひます。



3つ目は、「思いやりの心」をもつということです。

学校教育目標の「思いやりのある子」「自ら鍛える子」「進んで学ぶ子」について子どもたちには話をしています。この2学期は、特に相手の立場や気持ちを考えて「思いやりの心」をもち、行動することが大切であると伝えました。人を傷つける言葉や態度・行動に気をつけ、自分と友だちを大切にし合える学級を目指してほしいと思っています。

そして、2学期の大きな行事である学芸会やマラソン大会では、自分の目標やクラスの目標に向かって一生懸命に取り組み、思い出に残る楽しい学校生活を送って欲しいです。

2学期は子どもたちが、勉強や運動に取り組む絶好の季節です。茶内神社祭、マラソン記録会、学芸会、PTA餅つき会等へのご理解・ご協力をいただき、本校の教育理念である「連携・協働しながら子どもたちを育て上げる学校づくり」をめざし、子どもたちのために頑張っ参ります。今後とも、ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

9月の帰宅時刻は、17時です。
少しずつ暗くなるのが早くなります。
早めに帰宅するようにしましょう。

地域で育てる①～茶内八幡神社祭を通して

7月11日にコミュニティスクールの2回目の会議がありました。この日の議題は、「目指す子ども・茶内の姿」でした。いろいろなお意見が出されましたが、次の2点に集約されました。

①『自分で考えて、発信できる子(主体性のある子)』

②『場に応じた礼儀正しい子』

この2点を踏まえ、地域でも自分らしさを発揮できるような取組にしていきたいという思いが語られました。なかでも茶内八幡神社祭までの取組は、地域の大人が子どもたちに伝統文化を伝える活動が多くを占めているため、上記の2つの目指す子どもに迫ることができるという思いを共有することができました。

さて、夏休み前に、子どもたちは神社祭での自分の役割を決めました。8月に入って直ぐに練習が始まった獅子部、夏休みの終わりが近づいた頃からは、神輿お囃子と踊り子の練習が始まりました。自分が選んだ役割ですから、どの子も熱心に練習をしています。橋北会館での練習では、横笛の持ち方、唇の当て方や角度等、はじめての3年生にも大人や中学生が優しく教えてくれていました。

学校としては、学習内容にある音楽科「伝統芸能に関すること」、体育科「相撲など体力向上に関すること」「フォークダンス(よさこい)」の学習時期を工夫したり、外部講師として地域の方に協力をいただいたりすることを考えていきます。



※昨年度の写真です。

地域で育てる②～盆踊り大会を通して

夏休みに入る直前に、盆踊りを教えてくださった井上秀子さんも来場していました。話を聞くと、「盆踊りを教えたので、子どもたちと一緒に踊ろうと思って来ました。」とのことでした。

18時を過ぎた頃から子どもたちが集まり始めました。少しずつ踊りの輪が大きくなっていきました。例年よりも、踊りへの参加率が高かったようです。盆踊りを運営している中原さんも子どもたちに積極的に働きかけてくださいました。学校と地域の思いがつながり始めた瞬間でした。

来年度は、盆踊り学習の仕方を検討していきたいと思います。踊り方だけでなく、盆踊りの本来の意味をしっかりと理解し、学校—地域—子どものつながりがより強くなるようにしていきたいところです。



地域の皆様、ありがとうございました！

トイレの改修工事

トイレの改修工事が夏休み後も続いています。校内の全てのトイレが使えるようになるまでは、10月いっぱいかかります。9月9日(月)からは、児童トイレが使えるようになる予定です。それまでは、体育館トイレや玄関前仮設トイレを使用します。また、工事の際に若干の騒音もあります。子どもたちの学習にはできるだけ支障が出ないように配慮していきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどお願いいたします。

また、校内にたくさんの作業員の方々が出入りしていますので、あいさつ運動の絶好の機会と考えています。さらに、校内に材料や道具等が置いてあるので、廊下歩行を遵守し落ち着いた行動をするよう促しています。



運動を持続する力

今週からマラソン記録会(9/14)に向けた取組が始まりました。学校では、わくわくタイムの時間にマラソタイムと称して、全校児童がグラウンドに出て走ります。走った周回数を記録していきます。大切なことは、目標をもって毎日継続的に走ることで「運動を持続する力」を高めることです。子どもによっては、わくわくタイムだけでなく、登校後や昼休みも走るようになると思います。目標もち、継続的に努力する良さについて家庭でも話題にあげてください。よろしくお願いいたします。

スケートについて

今年度はじめに、PTA役員会の中で、『スケート交換会』について話題になりました。

茶内小学校では、『スケート交換会』『中古スケート販売』をしばらく実施していなかったようです。

そこで、今年度は、地域のスケート販売店と連携をとり、11月末の参観日に併せて、『中古スケート販売』を開催することを考えています。